

第七十六回
帝國議會
貴族院

貸家組合法案特別委員會議事速記録第四號

昭和十六年二月二十一日(金曜日)午前十時七分開會

○委員長(子爵立見豐丸君) 只今ヨリ開會致シマス、本日ハ醫療保護法案ニ付テ御質疑願ヒタイと思ヒマス

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○委員長(子爵立見豐丸君) ソレデハ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

○男爵山川建君 其ノ前ニ貸家組合法、ソレカラ住宅營團ニ付テチヨット一ツ……

云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、其ノ邊ノ所ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ、伺ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 御答ヘ申上デマス、確カニ御言葉ノ通りデアリマシテ、サウ大シタ金額ニハ上リマセスト思ヒマス

○安宅彌吉君 極ク簡易ナ質問デスガ、此ノ兩方トモ、電燈「ガス」ト云フモノハ關西地方デハ、新築家屋ハ電燈「ガス」ハ取付ガ困難デアリマス、是ニ付テハ御成案ガアルノデアリマスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 電燈及「ガス」ニ付キマシテハ、只今資料ノ關係デ色々困難ガアルト存ジマス、マア電燈ノ方ハサウ大シタ問題デナイト思ヒマスガ「ガス」ノ方ガ非常ニ困難ダト思フノデアリマス、マダ成案ガアルト云フ所迄ハ行ッテ居リマセスガ、出來ルダケサウ云フ方面ハ努力シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 只今申シタ通り、關西デハ新築家屋ニ對スル電燈「ガス」ト云フモノノ供給ハ殆ド出來スト云ッテ宜イノデス、資料ノ關係デヤナクシテ「ガス」ノ量ト、ソレカラ電燈ノ量ガ不十分ナンデス、併シ今仰セラレタノハ資料ノ點ヲ仰セラレマシタケレドモ、資料デヤナクシテ電力ガ足りナイ「ガス」ガ足りナイト云フ點カラ新築家屋ハ殆ドムヅカシイト云フヤウナ考ヘ方デ行カナクチャイカスノデスガ、此ノ點ハ特ニ優先的ニ配給ナサル御積リナンドスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 電燈ノ方ハ出來ルダケマア優先的ニ配給シテ貰フヤウナ方ニナッテ居ルノデアリマスガ「ガス」ノ方ハ只今申上デタ通り、資料點ニ今「ガス」ノ不足ノ爲ニ思ハシク行カナイノデヤナイカト思ッテ居リマスガ、尙其ノ方面ト交渉致シマシテ、出來ルダケヤッテ見タイト考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 此ノ營團ノ方ノ十六條ノ第四號ノ「住宅」ノ建設ノ爲ニスル資金ノ貸付「ト云フノハ、此ノ營團ガ御所有ニナッテ地面ノ中ニ建設スル住宅建設ト云フ意味デスカ、又ハ此ノ貸家組合ノ關係ニモ金ヲ貸シテヤルト云フ御方針デアリマスカ、其ノ利率ハドウ云フ利率デスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 十六條四號ノ住宅ノ建設ノ爲ニスル資金ノ貸付デアリマスガ、是ハ住宅營團ガ經營シテ居リマスル其ノ中ニ建テマスル住宅ノ建設ニ對シテデハナイノデアリマシテ、例ヘバ主トシテ貸家組合ノ住宅建設ノ爲ニスル資金ノ貸付ヲヤリタイト考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 利率ハドウデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 利率等ニ付キマシテハ、マダハツキリ率ヲ決メテ居リマセスガ、何レ業務規程等ニ依ッテ決メル積リデアリマスガ、勿論此ノ住宅組合ノ性質ニ鑑ミマシテ、成ルベク低利ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 サウスルト營團ノ中ニ拵ヘルモノハ營團自身ガヤルガ、貸家組合等ニ所要ノ金ヲ貸スト、斯ウ了解シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(熊谷憲一君) 左様デゴザイマス

○安宅彌吉君 ソレデ此ノ第五號ノ「住宅」ノ賣買及賃借ノ仲介「ト云フ所ノ、此ノ住宅ノ賣買ト云フコトハ矢張り營團ノ中ノ住宅ノ賣買ト云フコトデスカ、ソレカラ賃借ト云フモノハ此ノ營團ノ家屋ノ賃借ノ仲介ヲスルト云フ、斯ウ云フコトデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 御言葉ノ通りデアリマシテ、十六條ノ第二號ニ依リマシテ住宅ノ建設及受託等ヲ致シテ居リマスノデ、サウ云フ住宅ノ賣買及賃借ノ仲介ヲ致スノデアリマス

○安宅彌吉君 內輪ダケノ……

○政府委員(熊谷憲一君) 內輪ダケデス

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

○安宅彌吉君 尙伺ヒタイノデスガ、二十年デ自分ノモノニナルトシテモ、死亡ダトカ、轉居ダトカ、或ハ家族ガ殖エタトカデ轉宅シナケレバナラナイ、サウ云フ時分ニハ無論賣買サレルト思ヒマスガ、其ノ基準ガナケレバナラナイト思ヒマス、何年間住ンダ時ハ幾ラニ賣ルトカ、或ハ制限ガアルト云ヒマスカ、何カ是以上ニ賣ッチャイカストカ、十年住ンダ、十五年住ンダ人ハ幾ラデ賣ッカラ宜イカト云フ基準ガアリマスカ、民間ノ住宅ノ賃借ニハ權利ガ付イタリスルノデアリマスガ、サウ云フコトハ絕對個人デ勝手ニ賃借ヲスル、二十年借リテ居ル人ガ勝手ニ營團ノ事務所ヲ經ナイデ勝手ニ賃借スルコトガ出來ナイノデ、營團ヲ通

シテヤルトシテモ矢張り値段ニ付テノ制限
ガアルノデアリマス

○政府委員(熊谷憲一君) 此ノ住宅ノ分譲
等ヲ受ケマシテモ、二十年ナリ其處バカ
リニ居ルト云フ譯ニ行カナイノデアリマシ
テ、御言葉ノ通り色々事情デ引越シスル
場合ガ多アルト思ヒマス、サウ云フ場合
ニハ其ノ家ヲ他人ニ貸ストカ、譲渡シヨウ
ト云フコトハ出来ヨウト思ヒマス、ソレ等
ノ問題ニ付キマシテハ業務規程デ詳シク決
メマシテ、ドウ云フ標準デ賣渡ス、ドウ云
フ標準デ貸借スルト云フコトハ、ハッキリ決
メテ居リマス

○安宅彌吉君 拂込ム毎月ノ家賃ハ家ノ代
金幾ラカラ含ンデ居ルト云フコトニナル、
ソレデ貸サナケレバナラナイ、ソレデ賣ラ
ナケレバナラナイト云フコトニナルト、ソ
レハ業務規程デ御決メニナル譯デスネ

○政府委員(熊谷憲一君) サウデアリマス
○男爵山川建君 モウ一ツ伺ッテ置キタイ
ノデスガ、貸家組合ノ方ノ二條ノ三デアリ
マスガ、組合員ノ貸家ニ關スル斡旋所ノ設
置」之ニ對シテハ御説明ニ依リマス、千
圓ノ補助ヲスルト云フ話ヲ承ツタノデアリ
マスガ、コ、デ一體ドウ云フコトヲヤリマ
スノデアリマス、ソレヲチョット伺ヒタ
イト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 御承知ノ如ク最
近住宅難ガアリマス爲ニ、方々ニ貸家案内
所乃至貸家案内所ト云フモノガ出来テ居リ
マシテ、其ノ中ニハ可成リ如何ハシイモノ
モアルヤウデアリマス、折角手数料ヲ拂ッ
テ見タ處ガ、其ノ家ハ人ガ借りテ居ッ
ト云フヤウナコトモアリマス、又住宅難ニ
乗ジマシテ、非常ニ高イ手数料ヲ、百圓ト

カ二百圓トカ云フ高イ手数料ヲ取ッテ斡旋
シテ居ル向モアルヤウニ聞イテ居リマス、
サウ云フコトノナイヤウニ大體貸家組合ガ
出来マスト、其ノ組合ノ持ッテ居ル貸家、貸
間ガ出来マシタナラバ、其ノ組合事務所ノ
斡旋所ニ届ケテ貰ッテ、内容等モ届ケテ貰
ッテ、其處ニ名簿ヲ備ヘ付ケルカ、或ハ民間
デヤッテ居リマスヤウニ揭示場ヲ作リマス
ト云フヤウナコトデ、貸家ヲ搜シテ居ル人
ニ出来ルダケ便宜ヲ與ヘヨウ、或ハ手紙等
ノ照會ニ對シマシテモ回答ヲシテ出来ルダ
ケ貸家ヲ搜シテ居ル、空屋ヲ搜シテ居ル人
ニ便宜ヲ與ヘテ行カウト云フ組織デアリマ
ス、豫算モ御話ガアリマシタ通りニ、大體
千圓以内ヲ補助シテ行カウト云フ考デ居リ
マス

○男爵山川建君 尙モウ一點伺ヒタイノデ
アリマスガ、住宅營團ノ方デ土地收用法ニ依
テ收用サレタ地面ヲ分譲ニ依リマシテ自分
ガ所有權ヲ得タト云フ場合ニ、ソレノ轉賣
ニ付テ複雑ナ關係ガ起ルト思フノデアリマ
スガ、其ノ點ハドウ云フ風ニナリマス
○政府委員(熊谷憲一君) 其ノ點ハ十七條
ノ末項第三項デアリマスガ、勅令ヲ以テ何
レ細カイ規定ヲ設ケマシテ、其ノ間ノウル
サイ關係ガ起ラナイヤウニシテ行キタイト
考ヘテ居リマス

○松井貞太郎君 其ノ次ノ第十八條ノ道府
縣各市町村ノ所有スル土地ハ隨意契約ニ依
テ住宅營團ニ譲渡スルコトガ出来ルト云フ
ヤウナ規定ガアリマス、個人ノ所有地ニ關
スル規定ガアリマセズ、個人ノ所有
地モ買収サレル場合ガアルカト思ヒマスガ、
ドウデスカ
○政府委員(熊谷憲一君) 勿論個人ノ土地

ヲ買収スルコトモ多アルト思ヒマス、
此ノ十八條ヲ置キマシタ趣旨ハ、北海道、
府縣各市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ所有
ニ屬スル土地ヲ他ニ賣却シヨウト云フ場合
ニ於キマシテハ、會計規則ニ依リマシテ國
ノ會計規則ヲ準用シテ居リマスノデ、競争
入札ニ依リマス、サウ致シマス、一體ニ地
代ガ釣上リマスカラ、サウ云フ住宅營團ガ
ヤル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ッテヤルコト
ガ出来ル、詰リ會計法ノ特別ヲ置イタ譯デ
アリマス、然ラバ國ニ於テハサウ云フ規定
ガナイデヤナイカト云フ御尋ガアルヤモ知
レマセズ、國ニ付キマシテハ會計法ノ第
三十一條ニ依リマシテ、會計規則ノ百十四
條ノ第一項ノ二十號ト思ヒマシタガ、斯ウ
云フ公益團體ニ對シマシテハ、原則ノ公入
札ノ方法ニ依ラズシテ、隨意契約ニ依ッテ讓
渡スコトガ出来ルト云フコトニナッテ居リマ
スカ、國ノ方ハ其ノ會計規則ニ依ルコト
ト致シマシテ、十八條ニ依ッテ其ノ外ノ北海
道、府縣等ノ公共團體ニ付テ此ノ特別ヲ設
ケタ譯デアリマス

○松井貞太郎君 ソレカラ引續キマシテ、
此ノ十九條、二十條ニ付テハ質問ナンデス
ガ、營團ノ事業トカ、ソレカラ住宅ノ建設
資材ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、大
體各位ノ御質問ヲ通ジテ御意見ヲ承ツタノ
デアリマシテ、一先ツ是デ安心スルコトナリ
ト考ヘルノデアリマスガ、從ッテ莫大ノ資金
ヲ要スル爲ニ十億圓迄最高住宅債券ヲ發行
シ得ルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、政
府カラモ多額ノ公債ガ出、又債券ガ出マス
ヤウナ時代デモアリマス、又帝都高速度
交通營團トカ、農地開發營團トカ、各、皆債
券ヲ出サレルヤウニ考ヘテ居ルノデ、本債

券ニ關シマシテハ預金部ノ引受デモアリマ
スルモノデスカ、此ノ規定ニ依リマス、
一般カラ應募サレルヤウニ思ヒマスルガ、
應募ノ見込ガ十分御立チニナッテ居リマス
ルノデスカ
○政府委員(熊谷憲一君) 御尤モナ御尋デ
アリマシテ、大體ニ於キマシテ一般ノ民間
カラ之ヲ募集スルト云フコトハ現在ノ狀況
ニ於テモ、又其ノ本質ニ考ヘテモムツカシ
イノデハナイカト考ヘテ居リマス、出来ル
ダケ安イ利息デヤラナケレバナラヌノデア
リマシテ、ムツカシイドラウト思ッテ居リ
マス、ソレデ大體ニ於キマシテハ只今御話
ノアリマシタヤウニ預金部ノ低利資金、簡
易保險ノ低利資金等ヲ主トシテ考ヘテ居ル
ノデアリマシテ、其ノ外ハ此ノ住宅營團デ
建マシタ家ノ分譲ヲ受ケル勞務者ヲ使ッ
テ居ル事業主等ニ對シマシテ、特別ニ協力
シテ貰フト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマ
スルガ、原則ト致シマシテハ大藏省預金部
ノ低利資金ヲ主トシテ考ヘテ居リマス
○委員長(子爵立見豐丸君) 住宅營團法案
ニ付テハ一先ツ御質問ハ是デ打切りマシテ、
醫療保護法案ニ付テ御質問ヲ願ヒマス
○長岡隆一郎君 極ク些細ナコトデゴザイ
マスガ、第二十四條ニ、道府縣、市町村其
ノ他ノ公共團體ハ左ニ掲グル土地又ハ建物
ニ對シテハ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコト
ヲ得ナイトアリマス、誠ニ結構ダト思ヒマ
スガ、他ノ私立社會事業、例ヘバ個人經營
ノ孤兒院トカ、個人經營ノ托兒所トカ云フ
モノニ對シテハ斯ウ云フ公課ヲ免ジテ居ラ
レルノデアリマス

○政府委員(熊谷憲一君) 社會事業法ニ於
キマシテモ大體之ト同ジヤウナ規定ガアリ

マシテ、大體同ジヤウナ取扱ニナッテ居リマス

○長岡隆一郎君 ソレハ國ノ税ノ關係デスカ、確カ私立學校ノ地租免除ニ關スル件トカ云フ特別法ガアッテ、私立學校ノ敷地ニ對シテハ地租ヲ免除シテ居ルト思ヒマスガ、是ハ社會事業法ニ於テハ地租云々ノコトハナイヤウニ思フノデアリマスガ、其ノ權衡ノ問題ニ付テ御考ヘニナッテコトガアリマセウカ

○政府委員(熊谷憲一君) 其ノ點ニ付キマシテハ實ハ餘リ調ベテ居リマセヌノデ、又後デ御説明申上ゲマス

○長岡隆一郎君 只今山川男爵カラ御注意ガアリマシタガ、他ノ私立學校デ所有シテ居ル土地ト云フモノハ、無論學校ノ用ニ供スルトカ、校舎トカ、運動場トカ、敷地トカ云フモノデス、基本財産トシテノ土地ハ含ンデ居ナイ、私立學校ハ經營ガ困難ナモノモアリマスケレドモ、中ニハ財政ノ豐カナモノモアル、或ハ財閥ノ援助ヲ受ケテ居ル私立ノ高等學校モアッテ、經營ノウマク行ッテ居ル大學モアル、從ッテ此ノ大學ニ學者ハ多クハ中産階級以上ノ子弟デアアル、サウシテ相當ノ社會事業團體モ混ッテ居ル、一方ノ托兒所トカ、孤兒院トカ云フヤウナモノハ全ク下層階級ノ貧民ノ孤兒トカ、或ハ幼兒ヲ收容シテ居ルノデアッテ、是カラ租稅ヲ取ルト云フコトハ、是ハ少シ權衡ヲ失シテ居ルト思フ、無論是ハ國ノ財政ニモ影響スルコトデスカラ、今日之ヲドウ解決スルト云フ處デナカ、大藏省ノ同意ヲ得ラレルコトハムヅカシカラウト思ヒマス、併シナガラ是ハ當局デ能ク御考慮ニ留メラレタイト思ヒマス、社會事業ト云ッテモ、社

會事業ト云フ定義ガムヅカシイノデアリマスケレドモ、私立學校ノ土地ノ免稅ヲスルトカ云フコトハ惡イ善イト云フ意味デハナイノデアリマスガ、ソレハ其ノ儘ニ置イテ戴イテ、併シソレ以上經營ノ困難ナ所ノ社會事業ニ對シテハ矢張りソレト同ジヤウナ待遇ヲ與ヘラレルコトガ當然デハナイカ、是ハ御當局ニ於テ十分サウ云フ御努力ヲ願ヒタイ、今日直チニ解決シテ戴キタイト云フノデハナイノデス、ソレニ對スル御所見ハ如何デスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 實ハ御言葉ノアリマシタ點ハ解決スルニ至ラナカッタノデアリマス、從來ノ程度ヲ越エテ居リマセヌ、併シ只今ノ學校ノ免稅ノ點等ヲ考ヘマスト、或ハ權衡ヲ失シタ點モアルヤウデアリマス、將來適當ナル機會ニ速カニサウ云フコトガ實現致シマスルヤウニシタイト思ヒマス

○中川望君 質問デヤアリマセヌガ、住宅營團法案ニ關シテハ衆議院ノ委員會ニ提出シタ資料ト云フモノヲ配付ニナッテ居リマスガ、醫療保護法案ニ付テハマダ戴イテ居ラナイヤウニ存ジマスガ、勅令案其ノ他ニ付テノ資料ガアリマシタナラバ、先ヅ豫メ御配付ヲ願ッテ置キマス、御交渉ヲ願ヒマス

○委員長(子爵立見豐丸君) 畏リマシタカラ差上ゲルコトニ致シマス

○政府委員(熊谷憲一君) 持ッテ居リマスカラ差上ゲルコトニ致シマス

○松井貞太郎君 第二十二條デ、町村ガ十二分ノ七ノ補助ヲ受ケルコトニナッテ居リマスガ、其ノ末文デ又道府縣ガ市町村ニ對シテ四分ノ二ノ補助ヲ出スコトニナッテ居ルヤウデアリマス、此ノ四分ノ一ヲ數字ニ直シマスト十二分ノ三ニナル譯デシテ、殆ド是デ町村ハロハニ近イヤウナ仕事ヤルコト

ニナルト思ヒマス、其處ヘ二十三條デモ何か少シ能ク調ベテ居リマセヌガ、實ヘルヤウニ思フノデアリマス、市町村トノ間ニ相當ノ開キガ出來ハセヌカト思ヒマス、之ヲ御分ケニナッテ根據ヲ御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(熊谷憲一君) 御言葉ノヤウニ多少違ヒガアリマス、二十二條ニ依リマス、府縣及ソレカラ其ノ他ノ公共團體法人等ガ此ノ事業者ニナリマス場合ニハ二分ノ一ノ補助ガアリマシテ、ソレニ道府縣カラ補助ガ四分ノ一アリマスカラ、合計致シマスト十二分ノ九ニナリマス、今申上ゲマシタノハ四分ノ一ノ負擔ヲ自分ガスレバ、アトノ四分ノ三ハ國、道府縣カラ補助ガ實ヘルト云フコトニナリマス、ソレカラ町村ノ方トソレカラ第三條ノ規定ニ依リ勅令ヲ以テ指定スル者、即チ恩賜財團濟生會ノ方ハ國ガ十二分ノ七出シマシテ、道府縣ガ四分ノ一出シマスカラ、十二分ノ十ニナリマス、十二分ノ九ト十二分ノ十トデ、少シバカリノ開キヲ生ズルガ、サウ大シタ開キニハナッテ居リマセヌ、唯町村及第三條ノ規定ニ依リ勅令ヲ以テ指令スル者ニ付キマシテ、十二分ノ六即チ二分ノ一デナク、十二分ノ七、詰リ十二分ノ一デケ餘計ニ致シマシタ理由ハ、多少デハアリマスガ、町村ハ市、道府縣ニ比較致シマシテ財政ガ困難デアラウト云フ點ヲ睨ミマシテ、救護法ヤ母子保護法ノ前例モ斯ウ云フ風ニナッテ居リマスカラ補助ヲ重ク致シマシタ、ソレカラ第三條ノ規定ニ依リ勅令ヲ以テ指定スル者ハ、是ハ新シク入リマシタノデ、恩賜財團濟生會ヲ見込デ居ルノデアリマス、恩賜財團濟生會ハ御承知ノヤウニ明治四十四年ニ畏多イコトデアリマスガ、明治天皇ノ勅語ヲ賜リマシ

テ、ソレニ基キマシテ濟生會ガ出來マシタ、現在ノ救貧、「カード」階級ノ救濟ノ相當部面ヲ受持ッテ居リマス、ソレデ有難イ聖旨ヲ津々浦々迄一ツ洽ク及シタイト云フ考モアリマスルシ、又市ハ割合ニ救貧事業ヲヤリマスガ、町村ハドウモ財力ガナイノデ餘リヤリマセヌ、サウシマススト濟生會ノ仕事ハ概ネ町村、殊ニ村ニ主點ヲ置カナケレバナラナイノデアリマス、サウシマススト色々ナ點デ費用モ重ナリマスカラ、サウ云フ色々ナ點ヲ考ヘマシテ、マア十二分ノ一デケ補助ヲ餘計ニシタ譯デアリマス

○仁井田益太郎君 極ク簡單ナコトヲチョット伺ヒマス、御承知ノ通り醫師ノ分布ガ甚ダ不均一デアアルノデアリマスガ、其ノ結果醫療保護法ヲ實施スルニ於テモ、非常ニ差支ヲ生ズルガラウト思フノデスガ、殊ニ僅カナ報酬ヲ貰ッテ醫師ガ遠イ所カラ本法ニ依ル診療ヲ行ハナケレバナラスト云フコトハ、實際上甚ダ困難デヤナイカト思ヒマスガ、サウ云フ點カラ見テモ、又一般國民保險ノ上カラ見テモ、醫師ノ分布ト云フコトニ付テ何カ適當ノ方策ヲ御考ヘニナッテ居ルノデアアルカ、現在デモ地方ニ依ッテ相當ノ施設ヲシテ居ルトハ思ヒマスケレドモ、此ノ法律ガ出來ル以上ハ、一層其ノ必要ヲ感ズルノデヤナイカト思フノデスガ、何カ之ニ付テ御考ガアルノデアリマスガ、此ノ機會ニ於テ一般ノ國民保險ノ上カラモ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 御尤モノ御尋デアリマシテ、マダ醫師ノ無イ村ガ三千數百全國ニアルノデアリマス、之ニ付キマシテハ實ハ私ノ主管デアリマセヌデ、今衛生局長ガ參リマシタラ詳シク申上ゲルノデア

リマスケレドモ、特別ニ無醫村ニ對スル對策ハ色々計畫ヲシテ居ル譯デアリマス、ソレデ此ノ醫療保護法ト致シマシテハ第六條ノ規定ニ依リマシテ、「其ノ他適當ナル施設」ト云フノガアリマスガ、是デ或ハ出張診療所ヲ置キマスとか、或ハ一週間ニ一回とか、月ニ二回とか、定期的ニ巡回診療班ヲ廻シマシテ診療シテ歩キマスとか、サウ云フコトヲ第六條ニ依ッテヤリタイト思ッテ居リマス、尙第七條「醫療又ハ助産ニ關シ必要ナル附帶事業」ト云フノガアリマスガ、此ノ附帶事業ト致シマシテハ、サウ云フ醫師ノ無イ村ニ於キマシテ定期的ニ巡回診療班ヤナシカ廻リマスケレドモ、尙醫者ノ指示ヲ受ケマシテ、適當ナ、普通ノ簡單ナ常備藥或ハ消毒藥等ハ配付シテ置キマシテ、出來ルダケサウ云フ方面ニモ醫療ノ普及ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、根本問題ト致シマシテハ、衛生局長カラ詳シク申上ゲルト思ヒマスケレドモ、無醫村ニ對スル特殊ノ對策ヲ講ジナケレバナラスト云フコトデ色々計畫シテ居リマスカラ、其ノ方デ併セ考ヘテ行キタイト思ヒマス

○仁井田益太郎君 チョット序ニ甚ダ恐レ入リマスガ、本法ヲ施行スルニ付テハ醫師會ノ如キ醫師團體トノ協力ガ最も必要ダト思フノデアリマスガ、何カ本法ノ施行ニ付テ醫師團體トノ打合せとか、或ハ協力ノコトニ關スル詰リマア打合せとか、サウ云ツタヤウナモノハドノ程度ノ打合せナリ何ナリガ出來テ居ルカ、一應チョット伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 是ハ醫療保護法或ハ救護法ト云フ名前デ今迄稱ヘラレテ居タノデアリマスガ、此ノ法案ヲ作ッテ貰ヒ

タイト云フ希望ハ、實ハ九年カ十年前カラアツタノデアリマス、サウシテ日本醫師會長カラ再三早ク之ヲ作ッテ貰ヒタイト云フ建議ニモナツテ居リマス、ソレカラ議會ニモ一度建議力陳情ガ出タノデアリマス、其ノ他社會事業大會或ハ方面委員ノ大會等ニ於キマシテモ、此ノ醫療救護法ヲ作ッテ貰ヒタイト云フ再三ノ希望ガアリマスルシ、又厚生省內ニアリマスル醫藥制度調査會、是ハ醫療體系ノ色々根本的ナ問題ヲ協議スル委員會デアリマスルガ、其處ニ於キマシテモ醫療保護法ヲ是非作ッテ貰ヒタイト云フコトガ言ハレマシテ、醫師會ト致シマシテモ、此ノ法案ノ出來ルコトハ、實ハ非常ニ希望シテ居リマス、昨年ノ夏デアリマシタガ、此時局下ニ於キマシテ斯ウ云フ貧民階級ニ對シマシテ、如何ナル對策ヲ講ズベキカト云フコトヲ中央社會事業委員會ニ諮問ガアリマシタ時ニモ、此ノ醫療保護法ヲ作レト云フ答申ガアツタノデアリマス、醫師會トハ從來カラ、救護法とか或ハ母子保護法ノ施行ニ付キマシテ、色々ト協力ヲ得テ居ルノデアリマシテ、勿論此ノ案ノ内容ニ付キマシテモ、十分醫師會ニモ御話申上ゲテ非常ナ贊成ヲ得テ居ルヤウナ譯デアリマス

○仁井田益太郎君 私ノ伺ヒタイノハ、醫師會トノ協力ト云フ意味デアリマスガ、ソレハ現ニ此ノ診療ニ從事スル醫師ノ方デ受クル報酬ハ甚ダ少イノデアリマスカラ、サウ云フモノヲ例ヘバ醫師會ノ如キモノガ補助シテ、醫師ノ負擔ヲ均等ニスルト云フヤウナコトモ相當ニ必要デヤナイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味カラ醫師會ガ或程度費用ヲ負擔シテ、本法ノ施行ヲ圓滑ナラシメルト云ツタヤウナコト迄行カナ

ケレバ、十分效果ヲ舉ゲルコトハ出來ナイノデヤナイカト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、本法ノ如キモノヲ施行セラル、コトハ希望シテ居ルニシテモ、實質上協力スルト云フコトデナケレバ、其ノ希望モ滿サレヌト云フコトニナルノデアリマスガ、醫師會ガ何處迄犧牲ヲ拂フカト云フヤウナ點ニ付テ實ハ伺ヒタカッタノデアリマス

○政府委員(熊谷憲一君) 御答申上ゲマス、勿論此ノ醫療保護ノ診療方針ト云フノハ、從來カラ非常ニ安クシテ戴イテ居ルノデアリマシテ、開業醫等ニ於キマシテモ、相當ノ犧牲ヲ忍ンデヤッテ戴イテ居リマス、今度色々醫師會ト話ヲ致シマス上ニ於テ、勿論安イカラ醫師會ガ其ノ足りナイ部分ノ費用ヲ負擔スルト云フヤウナコト迄ハ考ヘテ居リマセヌガ、此ノ救貧救護事業ニ付キマシテハ相當沿革ガアルノデアリマシテ、是等ニ付テ自分達開業醫ガ此ノ診療ヲ安イ診療費ヲ擔當スルト云フコトハ、是ハモウ十分覺悟シテ居ルガ、唯其ノ覺悟ガ當然ノ醫者ノ義務ダト云フヤウナ考ヘ方ヲ持タナイデ、ソレニ付テ十分感謝ノ念ヲ持ッテ我々が對スルヤウニ一ツシテ貰ヒタイト云フヤウナ希望ハ、醫師會ナリ開業醫ノ方ニアアルノデアリマスガ、特ニ只今御話ノアリマシタヤウニ、醫師會デ費用ヲ負擔シテ迄ヤルト云フコト迄ハ行ッテ居リマセヌ、又其ノ必要モ今ノ所デハナカラウカト考ヘテ居リマス

○松井貞太郎君 只今ノ御質問ト能ク似タ質問デアリマス、第四條、第五條等ニ事業者ト書イテ居リマスルノハ、成ルベク開業醫ヲシテ事業者ヲ兼ネシメル御方針デスカ、成ルベク開業醫ヲ避ケル御方針ニナツテ居

リマスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 此ノ四條ノ道府縣ハハツキリシテ居リマスガ、「主務大臣ノ指定スル者」ト言ヒマスノハ、是ハ醫師會、齒科醫師會ノコトヲ言フノデアリマシテ、醫師會、齒科醫師會モ今全部トハ申上ゲラレマセヌガ、相當多數ノ會ニ於キマシテ此ノ救護事業ヲヤッテ居ルノデアリマス、サウ云フ所ニ於キマシテハ、其ノ會ノ希望ニ依ッテ業者トナルコトヲ致シタノデアリマス、第五條ハ三條、四條以外ノモノデアリマシテ、此ノ中ニハ所謂社會事業團體デアリマスとか、或ハ個人ノ有志家ト云フノガ入ルノデアリマシテ、其ノ個人ノ有志家ノ中ニハ勿論個人ノ開業醫モ居ラレルノデアリマス、出來ルダケ開業醫ノ方モ、サウ云フ特別ナ志デ事業者トナルコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、唯此ノ事業者トナルナラスハ要スルニ各自ノ勿論意志ニ依ルコトデアリマシテ、或ハ地方ニ依リマシテハ事業者ガ普クナイ所モ相當アルノデアリマシテ、サウ云フ地方ニ於キマシテハ、此ノ費用ヲ市町村、道府縣或ハ其ノ他ノ公益法人ガ持チマシテ、サウシテ實際ノ診療ハ開業醫ニヤッテ戴ク、斯ウ云フ風ニナル譯デゴザイマス

○安宅彌吉君 第三條ノ「勅令」ト云フノト、第四條ノ「大臣ノ指定」トハ違フノデアリマス、第三條ハ「勅令ヲ以テ指定スル者」ハ、事業者トス」トアリマス

○政府委員(熊谷憲一君) 第三條ノ「勅令ヲ以テ指定スル者」ト言ヒマスノハ恩賜財團濟生會ヲ意味スルノデアリマス

○安宅彌吉君 一ツニ限ルノデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 一ツニ限リマス、

第四條ハ今申上デマシタ「主務大臣ノ指定ス

ル者」ト云フノハ醫師會、齒科醫師會ヲ指ス

ノデアリマス、第三條ト第四條ト書キ分ケ

マシタノハ、此ノ市町村ハ今迄救護法、母

子保護法ニ依リマシテ、救護事業ノ義務者

トナツテ居ルノデアリマシテ、當然事業者ト

ナルノデアリマス、ソレカラ濟生會モ從來

ノ貴イ沿革ニ鑑ミマシテ當然事業者トナル

第四條ハ「爲ルコトヲ得」デアリマシテ、ナル

ナラヌハ實ハ自由デアリマシテ、其ノ場合

ニ主務大臣ガ指定ヲシテ、主務大臣ノ承認

ヲ受ケテ事業者トナル、斯ウ云フ意味デア

リマス

○安宅彌吉君 今ノ醫師會ガ事業者トナル

ト云フノデスガ、醫師其ノモノハ銘々ニ事

業者タルコトヲ得ルノデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 醫師會ノ方ハ醫

師會デ、勅令ニ依リマシテ救護事業ヲ會ノ

事業トシテ行フコトヲ得ルト云フ規定ガア

リマシテ、ソレニ依ツテ全國相當ノ數デヤ

テ居ルノデアリマス、此ノ四條ハ醫師會……

○安宅彌吉君 團體ノデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 公法人デアリ醫

師會ヲ指スノデアリマス、第五條ニ依リマ

シテ個人々々ノ開業醫ハ事業者トナルコト

ハ、是ハ自由デアリマス、許可ヲ受ケテナ

リ得ルノデアリマス

○安宅彌吉君 第六條ノ「其ノ他適當ナル

施設」ト云フノハ凡ソドウ云フコトナンデ

スカ

○政府委員(熊谷憲一君) 先程御答ヘ申上

ガマシタ醫者ノ居リマセヌ無醫村等ニ醫者

ノ出張診療所ヲ作リマストカ、或ハ巡回診

療班ヲ毎週一回、或ハ月三回位派シマシテ、

ソコロノ患者ヲ診テ戴ク、サウ云フコトヲ

考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 サウスルト診療所ガアレバ

醫師ガ居ラナクテモ診療ヲ受ケルコトガ出

來ルノデセウ、醫師ガ巡回シテ來ルノデ、

其ノ他ノ適當ナル施設ガナクッタテ診療所ガ

アレバ宜イノデヤナイデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 醫者ノ無イ所ハ

相當數箇村固ツテ居ル場合ガアルノデアリマ

シテ、各村ニ出張診療所ヲ置クコトモ一ツ

ノ方法デセウガ、各村ニサウ云フ建物ヲ借

リテヤルト云フコトハ、相當ノ經費ヲ要シ

マスカラ、各村ヲズツトグルツト歩イテ廻ル

ト云フコトモ亦考ヘテ見ル方ガ妥當デハナ

イカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 第七條ノ附帶事業ト云フノ

ハ例證シマストドウ云フコトナンデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 附帶事業ハ要ス

ルニ醫療、助産ヲヤルノデアリマスガ、其ノ

醫療、助産ヲ更ニ一層高率ナラシメテ、所謂私

共ハ病院社會事業ト云フヤウナ言葉デ呼ン

デ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲヤラ

セルノデアリマス、具體的ニ申上デマスト

例ヘバ、勿論病院ニ入レマシテ醫療ヲスル

場合モアルノデアリマスガ、必ズシモ病院

ニ入レナイ場合モアリマス、サウ云フ場合

ニ病人ノ家ニ看護婦ヲ派遣致シマシテ、醫

療上ノ心得ガ斯ウ云フ階級ハ極薄イノデア

リマスカラ、醫療ニ對スル心得ヲ言フテ聽カ

セルトカ、或ハ勿論傳染病デハナイガ、多

少傳染性ノ疾患ノ場合ニ、他ノ家族ニ傳染

シナイヤウナ心得ヲ能ク聽カセルト云フヤ

ウナ看護婦ヲ派遣スル、居宅看護ト云フヤ

ウナ言葉ヲ使ツテ居リマスガ、サウ云フコト

ガ一ツ、ソレカラ或ハ病院ニ入レマシタ場

合ニ、斯ウ云フ人ハ日頃非常ニ生活ニ疲レ

テ居ル人デアリマスカラ、色々ナ精神的ナ

慰安ヲ與ヘルコトモ必要デアリマセウシ、

又サウ見舞人等ガアル譯デモアリマセスカ

カラ、代ツテ患者ヲ慰安スルヤウナコトモ考

ヘル、詰リ患者ノ慰安事業、或ハ出來マス

ナラバ非常ニ榮養ニ缺ケル所ガアリマスカ

ラ、榮養品ヲ配給致シマストカ、或ハ先

程申上デマシタ農村デ醫者ガ居ナイ、且サ

ウ度々廻ツテ行ケナイ、巡回診療班ガ廻ツテ

行ケナイト云フヤウナ所ニハ、醫者ノ診察

ヲ受ケテ、極ク簡單ナ藥品ヲ配給シテ置ク、

サウ云フ風ナコトヲ附帶事業トシテ色々

ヤツテ見タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○安宅彌吉君 第十七條ノ「事業者ニ對シ

其ノ者ノ發行スベキ醫療券ニ付其ノ數、地

域等ヲ定メ割當ヲ爲スベシ」ト云フノハ、

是ハ許可ニナル時ニハ分散的ニ事業者ト云

フモノヲ指定サレテ、診療所ガ出來ル譯デ

スネ、サウスレバ自然ソコデ區域ガ定ルノ

デアリマセウカ、其ノ地域等ト云フ、數ナ

シカラ制限シテ居ルノハドウ云フ譯ナンデ

スカ

○政府委員(熊谷憲一君) 事業者ニハ市町

村、濟生會或ハ道府縣、マア其ノ外社會事

業團體モ色々アルノデアリマスガ、ソレデ

第十七條ハ地方長官ノ重要ナ仕事デアリマ

シテ、其ノ管内ノドウ云フ方面ニ「カド」

階級ガ何人居ルカ、其ノ病氣ノ罹病率ハド

ウデアルカ等ヲ計算シテ、ソレト事業者ノ

結び付キヲ考ヘテ、事業者ノ發行スル診療

券、醫療券ヲドノ方面ニ「カド」階級ガ居

リマスカラ何人ヤラウト、ソレカラ市町村

ノ受持區域ハ勿論ハッキリ決ツテ居リマスガ、

公益法人ノ受持區域ハハッキリ決ツテ居リマ

セヌノデ、オ前ノ方ノ受持區域ハ斯ウ云フ

風ニ、醫療券ハ是位發行シテ貰ヒタイ、勿

論其ノ財力、負擔能力ニ應ジテ醫療券ノ發

行負擔ヲ申付ケル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ

居リマス

○安宅彌吉君 ソレデハ病人ノ數デ制限ス

ルトカ、財産力ニ割當テ、制限スルトカ云

フ危險ハナイノデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 公益法人ヤ個人

ノ發行スル醫療券ニ付キマシテハ、其ノ財

力ニ應ジテ勿論醫療券ノ發行枚數ト云フモ

ノハ是ハ決ツテ居リマス、無理ヲスル譯ニハ

行カナイト思ヒマス、唯市町村ハ其ノ市町

村住民ノ救護ヲ爲ス義務ガアルノデアリマ

ス、ソレデ觀念的ニハ病人ガ居リマスレ

バ、出來ルダケ救濟シテ戴カイナケレバナ

ラス、斯ウ云フ事實ト考ヘルノデアリマス、

勿論病人ヲ制限スルト云フヤウナコトハ考

ヘテ居ナイノデアリマス

○安宅彌吉君 若シ個人醫師ガ此ノ事業者

ニナル、無論方々個人ノ醫者ヲシテ事業

者タラシメタ方ガ行キ届クト思ヒマス、出

來ルダケ分散的ニ多クノ醫師ガナツタ方ガ、

別ノ醫者デ新シイ施設ヲ拵ヘルヨリハ、個

人醫師自ラガ事業者ニナツタ方ガ病人ガ近

イ所デ診療等ガ出來ルノデアリマスカラ、

サウ云フモノガ私ハ望マシイコトト思ヒマ

スガ、ソレニ對シテ御方針ハドウ云フ風

ナ、又サウ云フ個人醫師ガ事業者ニナツタ

時分ニ醫療券ノ數ヲ矢張り割當テ、或ハ

何丁以内ノ人ハ是位ノ數デ、其ノ隣ノ事業者

ノ領域ニ喰ヒ込マスト云フヤウナコトハ考

ヘテ居ラレルノデスカ、ソレカラ若シ個人

ノ醫師ガ斯ウ云フコトヲスル時ニハ、別ニ

施設ヲシナカッタ、自分ノ診療所デ自ラ其ノ

診察ヲスルト云フ時ニハ、是ハ無論安ク診

療サレノデアリマスガ、ソレニ對シテ補助ト云フモノトノ關係ハドウナルノデアリマセウカ

○政府委員(熊谷憲一君) 説明ガ足リマセヌデ少シ誤解ノアル點モアルカト思ヒマスガ、此ノ事業者ト言ヒマスノハ此ノ第二條ニ定義シテ居ルノデアリマシテ、此ノ「貧困ノ爲生活困難ニシテ醫療又ハ助産ヲ受クルコト能ハザル者」ニ對シ醫療券ヲ發行シテ醫療又ハ助産ヲ受ケシムル事業ヲ謂フノデアリマス、而シテ之ニ要シマスル費用ハ第二十条ノ規定ニ依リマシテ一應事業者ノ負擔デアリマス、併シナガラ之ニ對シマシテハ二十二條ニ依リマシテ相當ノ補助ガ行クコトニハナツテ居リマス、從ツテ此ノ事業ヲ引受ケマスル以上ハ、相當ノ犧牲ヲ事業者トシテハ持タネバナラスノデアリマシテ、勿論個人ノ開業醫ガサウ云フ犧牲ヲ以テ貧困階級ノ人々ノ爲ニ醫療保護事業ヲヤツテ戴クト云フコトハ、勿論私ハ賛成デアリマスガ、サウ云フ次第デアリマシテ、併シ澤山ノ開業醫ガ保護事業者ニナルコトハ賛成デアリマスガ、必ズシモ實際問題トシテハサウハ行カナイノデアリマス、從ツテ事業者ノ經營スル醫療施設ガナイヤウナ場合ニ於キマシテハ、事業者ノ負擔ニ於テ開業醫ニ醫療ヲ委託スルト云フヤウナコトニナルノデアリマス

○安宅彌吉君 サウ致シマスト事業者デアリ、診療所ヲ自ラ持ツト云フコトモ出來ル譯ナデセウ

○政府委員(熊谷憲一君) 其ノ規定ハ第六條ニアルノデアリマシテ、詰リ此ノ事業者ハ第二條ニアリマスヤウニ、醫療券ヲ發行シテ其ノ醫療費ヲ負擔スル者ヲ謂フノデア

リマス、從ヒマシテ自分デ診療所ヲ持ツテ居ナイデモ事業者ニハナリ得ルノデアリマス、例ヘバ自分ガ或コトニ依ツテ餘分ノ金ヲ持ツタト云フ場合ニ救貧事業ヲヤリタイ、醫療事業ヲヤリタイト云フ場合ニ、自分ハ醫者デモ何デモナイ、又ハ醫療施設ヲ持ツテ居ナイガ、サウ云フ人々ノ爲ニヤツテヤリタイト云フ場合ニ、許可ヲ受ケマシテ醫療券ヲ發行スルト云フヤウナコトハ出來ルノデアリマシテ、サウ云フ人ヲマア事業者ト謂フノデアリマス、事業者ガ第六條ニ依ツテ診療所、産院其ノ他適當ナ施設ヲ持ツコトハ勿論自由デアリマス

○安宅彌吉君 サウシマスト事業者ガ自ラ醫療券ヲ出シテ自ラ診療スルト云フ場合モアル譯デスナ

○政府委員(熊谷憲一君) 何故此ノ醫療保護法ヲ作りマシタカト申シマス、各自ガ此ノ診療券ヲ出シマシテ、此ノ醫療券ト云フモノガ形式ニ於キマシテモ、又醫療價ニ於キマシテモ、色々バラ／＼デアリ、又醫療券ガドウ云フ方面ニ撒カレテ居ルカト云フコトモバラ／＼デアリマシテ、サウ云フモノヲ統一スル爲ニ此ノ醫療保護法ヲ作ツタデアリマス、從ヒマシテ今後ハ地方長官ガ、先程申上ゲマシタ十七條ナリ、其ノ次ノ十八條ノ規定ニ依リマシテ、醫療保護事業ノ統制及ビ連絡ニ關スル仕事ヲスルコトニナリマシテ、ソレヲ組織のニドノ方面ニドウ云フ程度ノ事業者ヲ按排スレバ宜シイカト云フコトヲ組織のニ考ヘテヤルコトニナルノデアリマスカラ、醫療券ヲ自分ガソコイラニ出シテ、サウシテ自分デ診療ヲヤルト云フコトハ、今後ナクナル譯デアリマ

ス

○安宅彌吉君 都市ニ於テハ或ハ非常ニ困難ナ人ガ各方面ニ散ツテ居ル譯デス、ソレデ今日濟生會其ノ他ノ社會施設モ誠ニ結構デアリマスガ、非常ニ急病ガアツタ、歩クニモ苦シイト云フ者ノ診療ヲ受ケルニハ隨分不便ガ多カッタガ、斯ウ云フ者ガ出來タノデスカラ、成ルベク苦シイ人ノ居ル各方面ニ近イ所デ診療スルト云フ必要ガアルト思ヒマスガ、其ノ診療所ヲ設ケルノニハ或ハ位置、數トカハ成ルベク貧民ガ皆自分ノ近所デ診療ヲ受ケ得ルヤウニ、二十分モ三十分モ電車ナンカニ乗ツテ行カナイデモ宜イ所デ診療ヲ受ケルト云フコトニ付テハ、ドウ云フ風ノ御考ヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(熊谷憲一君) 御意見ノ通りデアリマシテ、事業者ノ診療施設ダケデ醫療ヲヤルト云フ者ハ毛頭持ツテ居ナイノデアリマス、地方長官ガ道府縣醫師會ト契約ヲ致シマシテ、其ノ管内ノ開業醫ヲ委託ノ上ニ醫療施設トシテ行フコトハ十分考ヘ得ルノデアリマス、即チ開業醫デモ此ノ委託ヲ受ケテ診療スルト、斯ウ云フコトニ致シマシテ、出來ルダケ不便ノナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○安宅彌吉君 數ハ相當多クサレルト云フ意味デスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 左様デゴザイマス

○委員長(子爵立見豐丸君) 先刻ノ御質問ニ對シテ衛生局長ガ來テ居リマスカラ此ノ際ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(加藤於菟丸君) 速記ヲ拜見致シマシテカラ正確ニ御答ヘシタ方ガ宜シイカト思ヒマスガ、一應無醫村ノ對策或ハ醫

師ノ分布等ニ付テノ措置等ニ付テ……

○仁井田益太郎君 ソレデハ極ク簡單ニ質問ノ趣意ヲ申上ゲマス、本法施行ニ付テノ醫師ノ分布ノコトヲ考ヘナケレバナラス、又一般診療ノ點カラモ醫師ノ分布ノコトヲ考ヘナケレバナラスト思フノデスガ、ソレニ付テ何カ對策ヲ御考ヘニナツテ居ルト思フノデス、ソレヲ伺ヒタイ、斯ウ云フ趣旨デ

○政府委員(加藤於菟丸君) 只今ノ御質問デゴザイマスガ、醫師ノ全國ノ分布ノ現狀ヲ見マスルト、遺憾ナガラ國民醫療ノ見地カラ申上ゲマシテ満足ナ狀態デゴザイマセスノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジマスガ、現在ノ開業醫制度ト申シマスガ、自由ニ醫師ガ自分ノ好ム所ニ診療所、病院ヲ開設スルコトニナツテ居リマス關係上、經濟上ノ關係、或ハ精神上ノ事情、其ノ他色々ナ狀況カラ致シマシテ、動モスルト農村ニハ比較的醫師ノ數ガ少クナツテ、都市ノ方ニ非常ニ多ク集ツテ居ル、數字ヲ見マシテモ大都市ノ醫師ノ數ト府縣ノ醫師ノ數、醫師一人當リノ人口ハ農村ト都市トハ極端ニ違ッテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、之ガ對策ヲ講ジマスコトハ極メテ國民保健ノ上カラ大切ナコトト云フコトハ御意見ノ通りデアラウト存ジマス、ソコデ政府ニ於キマシテハ、實ハ昭和十三年度カラ醫師ノ居リマセヌ町村デ、是非トモ何等カノ施設ヲ講ジタイト云フ地方ニ對シマシテ、無醫村診療所設置補助ナル豫算ヲ計上シマシテ、道府縣ノ手デ必要ナル町村ニ診療所ヲ作ラセマシテ、ソレニ若干ノ補助ヲ出シテ參ツタノデアリマス、其ノ町村ノ數モ醫者ノ全然居ナイト云フ、所謂形式上ノ無醫町村ト云フモ

ノハ約三千六百バカリゴザイマス、併シ其ノ中ニハ直グ隣ニ近イ所ニ醫者ガ居ルト云フヤウナ所モゴザイマス譯デスカラ、色々ナ狀況ヲ調べマスト約七百位ノ町村ハ何トシテモ醫師ヲ常住セシメタイト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソコラ邊ヲ目標ニ致シマシテ、昭和十二年度以來無醫村診療所設置補助ト云フ施設ヲヤッテ居ルノデアリマスガ、年々二、三十箇所位ツツシカ實ハ設置ガ出來マセヌ、ト申シマスノハ、建物ヲ建デマシテモナカク、醫師ガ得ラレマセヌノデゴザイマシテ、今日迄マダ昭和十二年カラ四箇年間位ノ間ニ建デマシタ箇所ガ二百足ラズ、百七十箇所位ニナツテ居リマス、明年度ハ此ノ點ニ鑑ミマシテ、一舉ニ約百箇町村ニ無醫村診療所ヲ建デタイ、斯様ナ豫算ヲ過日御願ヲ致シタノデアリマス、尙無醫町村ダケニ此ノ診療所ヲ置キマシテモ、先程チヨット申上ゲマシタヤウニナカク、醫者ヲ得ルコトガ困難デゴザイマシテ、其ノ事情ハ色々先程申上ゲマシタヤウデアリマスガ、一生涯此ノ草深イ田舎ノ山村デ診療ニ従事スルト云フノデハ、ナカナカ得ラレマセヌノデ、或程度此ノ人事ノ交流ト申シマスガ、駐在所ノ巡查ガ後ニハ警察署ニ勤務シ、更ニ本部ニモ榮轉スルト云フコトガアリマスノデ、巡查ノ如キモモウ何レニデモ勤務ヲ命ゼラレテ居リマス、勿論關係モ色々違ヒマスガ、ソコデ其ノ無醫村診療所、町村ニ置キマスモノノ稍、中心ニナルヤウナ、而モソレハ内科モ外科モ何モカモ致シマスヤウナ、無醫村デ何モカモ一人ノ醫師ガ致シマスヤウデハ診療モ困難デアリマスノデ、數箇町村ノソレ等ノ診療所ノ中心ニナル綜合病院ノ如キモノヲ作り、稍、ムヅカシイ患

者ガ參リマシタラソコニ居ケル、又オ醫者サンモ一定期間經マシタラ中央綜合病院ニ轉任ヲシテ勤務スルト云フヤウナ仕組ニ致シマスコトガ、色々ナ關係上適切デアラウト云フヤウナ意見ガ醫藥制度調査會ニ於テモ答申ニナリマシタ、政府ニ於キマシテハ來年度此ノ方面ノ中央綜合病院ノ設立ヲモ計畫致シマシテ、若干ナガラ明年度ノ豫算ニ計上ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマス、相當ノ醫者ヲ府縣ノ施設ニ新ニ必要ト致シマスノデ、此ノ醫者ヲ得ル方面ノ又對策ト致シマシテ、公醫、公ノ醫者ヲ養成スル委託ノ經費ヲ豫算ニ計上致シタヤウナ次第デアリマス、是ハ陸海軍、拓務省アタリデ現ニ實施ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、學生中ニ志望者ヲ選擇致シマシテ、ソレニ學費ヲ給シマシテ、卒業後ハ一定期間政府若シクハ府縣ノ必要ト致シマスル場所ニ勤務サセル、其ノ後ハ又本人ノ希望ニ依ッテ或ハ外ニ向ヒ、或ハ中ニ於テ先程申シマシタヤウナ公醫トシテ段々進ンデ行ッテ貰フト云フヤウナコトデ、公醫養成ニ要スル經費ヲ計上致シタノデアリマス、即チ無醫地方ニ對スル對策ト致シマシテハ、從來ヤッテ居リマシタ無醫村診療所ヲ來年度百箇所、ソレカラ中央ノ綜合病院ヲ初メテノゴトデモゴザイマスノデ五箇所、ソレカラ委託養成ニ要スル經費九萬六千圓、一人年額四百八十圓ト云フヤウナ經費ヲ明年度ハ御願ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、尙根本的ニ此ノ問題ヲ考ヘマシテ、醫師ノ分布狀況ヲ適正ニ致シマス爲ニハ、或程度法律ノ改正等モ行フコトガ必要ニナルノデハナカラウカト考ヘラレル節モゴザイマス譯デス、此ノ點ニ付テハ尙後日ノ問題ト致シマシテ、差

向キ明年度ハ只今申上ゲマシタヤウナ豫算ノ實施ニ付キマシテ手段ヲ盡シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○仁井田益太郎君 數年前ニ入澤博士ガ醫師過剰デアルト云フコトヲ放送サレタノデアリマスガ、然ルニ僅カ兩三年ノ内ニ醫師不足ト言ッタヤウナ聲ヲ聞クノハ、一體ドウ云フコトニ原因スルノデアリマセウカ、外地或ハ滿洲方面トカ、北支那方面ニデモ醫者ガ移住シタト云フ結果デアリマセウカ、私ハソレ自體ニ付テ種々ナル疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、醫師過剰デアル、醫師ニナルナト云フヤウナコトヲ盛ニ放送サレテ居ッタノヲ、數年ナラズシテ醫師拂底ト云フノハドウ云フ所ニ原因ガアルカ、政府ハ勿論サウ云フコトニ付テ御考ニナッテ居ルデアリマセウシ、其ノ際ハ醫師過剰デアリ、何等ノ對策ヲ講ゼラレル必要ヲ感ゼラレナカッタノダト思ヒマスガ、一體ドウ云フ原因カラ起ッタノデアリマセウカ

○政府委員(加藤茂丸君) 醫師全體ノ數ヲ見マシテ、人口ノ増加等カラ致シマシテ醫師ガ數年前或ハ十數年前ニ比シテ過剰デアルカ、或ハ丁度宜イカ、或ハ過少デアルカト云フヤウナコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、其ノ數字ノ比較ダケカラ致シマシテハ年々約三千人餘リノ醫師ガ殖エテ、年々昭和十年、十一年、十二年、十三年、十四年ト殖エテ參ッテ居リマスノデ、三千人ヅ、殖エマスコトハ人口ノ増加等カラ言ヒマシテ、比率カラ言ヒマスソノナニ不足ハ致シテ居ナイ、問題ハ先程申上ゲマシタヤウニ分布ガ合理的デナイ、都會ニハ非常ニ澤山ノ醫師ガ集ッテ居ル、地方ニハ約三分一ノ無醫村ガアル、都市ニ偏在シテ居ルト云フ

點ガ問題ニナルノデヤナイカト思ヒマス、從ッテ私共モ此ノ分布ノ是正ト云フコトヲ先ヅ考ヘルコトガ最モ急務デヤナカラウカ、大都市ニ開業ノ醫師ノ如キハ、時ニ非常ナル經濟上ニモ困難ヲ感ジテ居リナガラ、尙且地方ハ行カナイ、地方デハ給料ノ如キモ無醫村デハ二百圓見當出シマス、生活ニハサホ下困難デナイニ拘ラズ、ナカク、得ラレナイト云フヤウナ事情ガゴザイマスヤウニ考ヘマスノデ、全體ト致シマシテハ數年前ニ過剰ノモノガ、現在著シク減ッテ來テ居ルト云フヤウニハ考ヘラレマセヌ、尤モ事變以來開業醫等ノ應召致シマシタ者ハ相當ノ數ニ上ッテ居リマス、ソレダケハ穴ニナッテ居リマスシ、尙一面國民保健ノ必要ガ漸次昂揚セラレマシテ、色々ナ國家或ハ公共團體ノ醫療施設、醫療機關ガ著シク新設ヲサレマシタノデ、其ノ方面ノ需要ト云フヤウナコトモ増シテ參ッテ居ルコトハ事實デゴザイマスガ、是ハ一時的ノ現象トシマシテ、其ノ方ノ方面ノ一時的ノ對策ト致シマシテハ、各醫科大學ニ實ハ昭和十四年以來臨時附屬醫學專門部ナルモノヲ設ケマシテ、全國ニ十三校、毎年約八百八十人ノ卒業生ヲ新シク出ス措置ハ政府トシテ講ジテ居リマスガ、是ハ臨時的ノ施設ト考ヘテ居リマシテ、全體のニ申シマス分布ノ是正ヲ圖ルコトガ醫療ノ普及ノ上デハ必要ナ措置デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松井貞太郎君 此ノ十三條ノ第三號ニ性行著シク不良ナル者」トアリマスガ、チヨット拜見致シマス、ナラズ者ハ總テ捨テ置ケト云フヤウナ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、外ノ方ニハ餘リ見ナイヤウナ規定ノ

ヤウニ思フノデアリマス、之ニ關シマシテ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(熊谷憲一君) 十三條ノ三號ニ付テノ御尋デアリマスガ、御尤モノ御意見デアリマシテ、此ノ規定ヲ置キマシテ趣旨ハ、十三條ト同ジヤウナ規定ハ現行法ノ救護法等ニモ前例ガアルノデアリマス、情眼防止ト申シマスガ、濫救ノ防止ト申シマスガ、十三條全體ガサウ云フヤウナ意味合デ規定シテアリマシテ、從來カラモ救護法等ニ其ノ例ガアリマスガ、之ヲ運用致シマシテ醫療ヲヤラナカッタト云フヤウナコトハ極ク稀デアリマス、殆ド無イト云ッテモ宜イト云フ程デアリマスガ、要スルニ日頃カラ相當ノ收入ガアルニ拘ラズ何等將來ニ對スル計畫ガナク、酒ヲ飲ンダリ、女ヲ買ツタリ、或ハ博奕ヲ打ツヤウナコトデ金ヲ使ヒ果シテ、計畫性ガナイト云フヤウナ者ニ對シテハ、斯ウ云フヤウナモノガアルゾト云フヤウナ、威力シト云ヒマスカ何ト申シマスガ、左様ナ意味合ニ於テ十三條ヲ置キマシタヤウナ次第デアリマス、勿論運用ニ依リマシテ之ヲ振廻シテ醫療ヲヤラナイト云フコトハナイノデアリマシテ、十分注意シテ行キタイト思ヒマス

○田口弼一君 今仁井田委員ノ御尋ニ關聯致シマシテ、衛生局長ガ御見エニナッテ居リマスカラチヨット御尋ネ致シマスガ、無醫村ガアルト云フコトハ是ハ實際醫者ガ少イノデヤナクテ、分布ノ情態ガ惡イカラダト云フ御話デゴザイマシタノデスガ、目下事變中デ軍ノ方ニ相當醫師ノ必要ガアリマシテ、マダ軍ノ方デハ數千名ノ醫師ガ欲シイト云フナウナコトデ、或ハ一萬カラノ醫師ガ欲シイト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、此ノ事

實ハ私共能ク知リマセスガ、サウ云フ風デアリマスノデ醫者ハ非常ニ必要ナ狀態ニナッテ目下居ルヤウナ狀態デアリマス、此ノ事變ガ何時迄續クカ知レマセスガ、最近大學其ノ他ノ方ノ狀況ヲ見ルト醫者ノ希望者ガ減ッテ來テ、理科カラ工科アタリニ行ク人ガ非常ニ多クナッテ、醫者ノ方ノ希望者ガ非常ニ少クナッテ居ル、殊ニ單科大學ノ如キ希望者ガ非常ニ少イノデアッテ、已ムヲ得ズ高等學校卒業者ダケデハ其ノ定員ヲ充タスコトガ出來ナイノデ、各方面カラ餘程入學資格モ低下シテ募集シテ居ルト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマスガ、其ノ事實ハドウデアアルカ、是モ私詳シク存ジマセスノデアリマスガ、是ハ唯工科ノ方ダケニ行クノデヤナクテ、矢張り他ニ色々原因ガアルノデヤナイカト云フヤウナコトヲ申シテ居リマスルガ、サウ云フコトハ何カ御承知デゴザイマセスガ、御承知ナラバ御説明願ヒタイト思ヒマス、高等學校ノ卒業生ガ醫者ニナルコトヲ餘リ希望シナイト云フヤウナ事實ガアルト云フコトデスガ、ソレニ付テ伺ヒタイ、ソレカラ單科大學アタリハ非常ニ希望者ガ少クテ、大分資格ヲ低下シテ採用シテ居ル、詰リ正規ノ課程ヲ履マナイ者ヲ採用シテ居ル爲ニ卒業後ノ醫者ノ質ガ前ノヤウナ譯ニハ行カナイト云フヤウナ話ヲ聞イテ居リマスガ、サウ云フ點ニ付テ伺ヒタイ

○政府委員(加藤茂丸君) 只今ノ點ハ實ハ私モ新聞等デ見マシタリ、或ハ時々貴衆兩院其ノ他ノ方面ノ御方カラ其ノ種ノ御話ヲ承ッテ居リマシテ、何カ原因メイタコトデモアルノカト云フヤウナコトヲ聽カレルコトモゴザイマスガ、各大學ノ入學率等ノ正確ナ

コトハチヨットマダ文部省カラ聞イテ居リマセスノデ、ハッキリシタコトハ申上デ兼ネマス、併シ昨年アタリモ同様ナコトガ憂慮セラレタヤウデゴザイマスガ、結局ニ於テハ相當ノ所デ收容ガ出來テ居ルヤウニ存ジマス、今モ御話ガアリマシタヤウニ醫科ニ對スル志望者ノ少イノハ大學ノ方デアリマシテ、中等學校カラ直グニ入學ノ出來ル專門學校ノ方面ノ志望者ハ年々非常ニ激増ニナッテ居リマス、高等學校ハ從前ト違ヒマシテ文科ト理科ニ分レマシテ、理科ヲ修了致シタ者ハ獨リ醫科バカリデナク色々ナ方面ニ進ムコトガ出來ル關係上、最近ニ於ケル醫科以外ノ他ノ技術方面ノ好況等ニ動カサレマシテ、其ノ方面ヲ希望スル者ガ非常ニ多イ、併シソレハ醫者ガ面白クナイカラダト云フコトデアレバ、中等學校ヲ出タ者ガ醫學ノ專門學校ニ入ル率モサウ殖エナイ筈デアリマシテ、醫者ガ面白クナイト云フコトヨリモ、他ノ方ガ一層著シク好イト云フヤウナ事情カラデハアリマスマイカ、斯様ニ私共色々話シ合ッテ見マスト考ヘラレルノデアリマスガ、國民保健ノ見地カラスレバ醫者ノ志望者ガ減少シタリ、或ハ質ガ低下スルト云フヤウナコトガアッテハ、是ハ甚ダ憂慮スベキ狀態ト思ヒマスノデ、是等ノ點ニ付テハ尙今後注意ヲ怠ラナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○田口弼一君 モウ一ツ斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデヤナイカト思ヒマスノデ、伺ッテ見タイト思ヒマスガ、學閥ナント云フト語弊ガアルノデアリマセウガ、各病院其ノ他ニ於テ矢張り上ノ方ノ人、詰リ病院長ナラ病院長ガ或大學ヲ卒業シテ居リマス、自分ノ出身大學ノ卒業生ヲ採用スレバ色々ナ點

ニ於テ親シクモアルシ、又病院ノ成績ヲ上ゲル上ニ都合ガ好イカラト云フノデ、自分ト同ジ大學ノ出身者トカ、或ハ自分ノ友人ノ紹介ニ依ル人ヲ採用スルヤウナコトガ能クアル、是ハ敢テ學閥ト云フコトデハナイケレドモ、人情デ自然サウ云フコトニナル、サウ云フヤウニ結局同ジ病院ガ同ジ學校ノ出身者ニ依ッテ固マルト云フノハ、是ハ矢張り學閥ト云フヤウナコトデナク、自然ニサウ云フ狀況ニナルノデヤナイカト思ッテ居リマスガ、サウ云フコトガアル爲ニ、先輩ノ少イ學校ヲ卒業シタ人ハ就職ニ付テ非常ニ不利益ナ條件ニナルト云フヤウナコトガアル、サウ云フコトノ爲ニ先輩ノ少イ大學ヘノ志望者ガ非常ニ減ッテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル人ガアルヤデス、是ハナカク學校ヲ出タ後ノ問題トカ云フコトデ、ムツカシイコトカモ知レマセスガ、サウ云フ問題ガアルトスレバ、矢張り各方面デサウ云フ單科大學ヲ出タ人ニ付テハ相當考ヘテヤル、又政府ノ方デモ各方面ニ御世話ヲサレテ、他ノ先輩ノ多イ所ニ比シテ非常ニ不利益ナ條件ニナラナイヤウニシテ下サレバ、餘程其ノ點ガウマク行クノデヤナイカ、斯ウ云フ話モ聞クノデアリマスガ、サウ云フ點ハドウデアアルカ、ヨク私ハ事情ヲ存ジマセスガ、若シ御調ノ上デ多少サウ云フ不利ガアルト云フコトデアレバ、政府ノ方デモ御注意下サッタラ餘程又違ッテ來ルノデヤナイカト思ヒマス、此ノ點希望ヲ申上ゲテ置キマス

○中川望君 本法ニ依ル事業者ト云フ者ハ三條、四條、五條ニ依ッテモ定ッテ居ル譯デアリマスガ、從來此ノ目的ノ爲ノ公益法人モ尠カラズアル譯デアリマス、ソレ等ハ自

分ノ力デ此ノ醫療保護事業ヲヤツテ居ルノ
デアリマスガ、ソレガ本法ニ依ラズシテ、
是迄通りニ唯自己ノ力ノミデ醫療保護事業
ヲ行フコトハ別ニ差支ナイカ、又自分ノ力
ノミニ依ッテハ是迄百「ベッド」シカナカタモ
ノガ、此ノ法律ニ依ッテ事業者ト認メラレ
レバ國庫カラ半額ノ補助ヲ得ラレルト云フ
コトニ依ッテ、其ノ救療事業ヲ擴張スルコト
モ出來ルト云フヤウナ觀點カラ、政府トシ
テハサウ云フ者ガ事業者タルコトヲ欲スル
ノデアリマスガ、詰リ國庫ノ補助等ヲ貰ハ
ズニ此ノ關係以外ニ立ッテ醫療保護事業ヲ
行フ法人モ其ノ儘ニ認メルノデアリマスガ、
又サウ云フ者ハ成ルベク此ノ法律ニ依ラセ
テ、救療事業ノ擴充ヲ望マレルノデアリマ
スカ、其ノ點ヲ明カニシテ戴キタイ

○政府委員(熊谷憲一君) 御答ニ致シマス、
本法ガ出來マンテ色々各種ノ救療事業ヲ統
一シタイト云フ者ハ持ッテ居リマス、從ッテ
成ルベク本法ノ事業者トナッテ戴クコトヲ
希望ハ致シテ居リマス、併シナガラ勿論慈
惠、救濟ノ尊イ精神デヤツテ居ラレル公益
團體ノコトデアリマスルシ、本法ニ依ラズ
シテ他ノ從來ノ方法デヤウト云フヤウナ
御希望ノ方ガアリマスレバ、其ノ方モ勿論
出來ルダケ我々ト致シマシテハ援助モシ、
御世話モ致シタイト考ヘテ居リマス

○男爵高木喜寛君 此ノ法案ハ誠ニ時宜ニ
適シタル法案デ、私モ贊成ナノデアリマス
ガ、豫算ガ少イ爲ニ十分ナ仕事ヲスルコト
ガ出來ナイコトヲ憂フルノデアリマス、就
キマシテハ其ノ補充ノ意味ニ於テ既ニ存在
シテ居ル施療機關、殊ニ施療病院ノ擴充ヲ
命令的ニ擴充セシムルヤウナ考ハ政府ニ於
テハ御考ニナッテ居リマセスカ、實ハ私常ニ

我が國、殊ニ大都會ノ東京等ニ於テ施療病
院ノ少イコトヲ非常ニ不思議ニ思ッテ居
ノデアリマス、色々研究シマシタケレドモ、
別ニ之ト云フハキリシタ譯ハ分リマセヌ
ガ、恐ラク今迄一般開業醫者ガ醫ハ仁術ト
云フヤウナ意味カラシテ、其ノ義務ヲ負擔
シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、昔
ハ醫者ニモ餘裕ガアリマシタカラサウ云フ
コトモ十分出來タノデアリマスケレドモ、
近頃ノヤウニ生活困難ニナルトナカ、其
ノ餘裕ガナイノデ、段々ト貧困者ニシテ治
療ヲ受ケル者ガ多クナッテ來タヤウニ思ハ
レルノデアリマス、處デ此ノ施療病院、現
在日本デハ施療ノ患者ヲ容レテ居ルヤウナ
病院ハ相當アリマスケレドモ、規模ハ小サ
ク、一番多イノガ百五十人位ホカ入院ガ出
來ナイノデアリマス、大多數ハ五十人以下
ト言ッテモ宜イ位デ、非常ニ規模ガ小サイノ
デ十分ナ治療ヲ施スコトハ出來ナイヤウナ
狀態デアリマス、歐米ニ於キマシテハ、中
ニハ二千人モ容レルヤウナ病院モアリマ
スルシ、大學等ニ附屬シテ居リマスモノハ總
テ數百人、千人位ノ施療入院患者ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、ソレデ私此ノ施療病院
ヲ建テルニ付テハ、施療病院ナルモノハ醫
學校ニ附屬セシムルコトガ必要デアラウト
思フノデアリマス、ソレハ何故カト申シマ
スト、サウ云フ所ニ附屬セシメテ置ケバ立
派ナ先生方ノ治療ヲ受ケルコトモ出來、貧
困者ニシテモ十分ナル治療ヲ受ケルコトガ
出來ル、又一方サウ云フ風ニ施療患者ガ多
ケレバ之ヲ學用患者トシテモ十分使フコト
ガ出來ル、學用患者トシテ使ヘマスルカラ、
生徒ハ十分ニ實地ノ機會モ得ルコトガ出來
マスシ、又十分ニ醫術ノ精神ヲ吹込ムコト

モ出來ル、從ッテ開業シタ曉ニハ其ノ行動
ニモ好イ影響ヲ及スグラウト思フノデアリ
マス、又一方左程補助ヲシナクテモ、サウ
云フ學校ニ於テ病院ヲ擴充スルコトハ私ハ
出來ルト思フノデアリマス、殊ニ文部省ニ
於キマシテ學校ヲ認可スルヤウナ場合ニハ、
サウ云フ設備ガナケレバナラナイト云フヤ
ウナ條件ヲ付ケラレタナラバ、必ズ立派ナ
病院ヲ作ルコトハ出來ルト思フノデアリマ
ス、サウスレバ今回ノ此ノ法案ニアル色々
ナ救護施設等ニ付テモ、餘程サウ云フ病院
ガアツタナラバ緩和スルコトハ出來ルト思
ヒマスノデ、當局ニ於テハサウ云フモノニ
對シテ何カ御考ハアリマセヌデスカ、伺ヒ
マス

○政府委員(熊谷憲一君) 醫療保護法ノ施
行ニ要シマスル經費デアリマスガ、勿論十
分デアルトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス
ガ、今後ノ運用ニ依リマシテ尙豫算ノコト
ハ考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス、本法
ニ於キマシテノ病院トカ、産院其ノ他適當
ナル施設ニ付キマシテハ六條ニアリマスル
ヤウニ、出來ルダケ事業者デサウ云フモノ
ヲ考ヘテ戴キタイ、又必要ガアリマスレバ
六條ノ第二項ノ規定ニ依リマシテ、施設ノ
經營ヲ命ズルコトガ出來ルト云フコトニナ
テ居リマス、尙第二十二條ノ第二號ニ「施設
ノ費用」ト云フコトガアリマスガ、之ニ依リ
マシテ國ガ市其ノ他公益法人デアリマスレ
バ、二分ノ一ノ補助、道府縣ヨリハ四分ノ
一ノ補助ヲスルト云フ定額ノ補助ニモナッ
テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ豫算ノ許シ
マスル限りサウ云フ方法デ出來ルダケ此ノ
施療病院ヲ完備シテ行キタイト考ヘテ居リ
マス、尙六條ノ第二項ノ但書ニアリマスガ

「他ノ法令ニ依リ施設經營ヲ命ズルコトヲ得
ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」トアリマスガ、他
ノ法令ト申シマスノハ御承知ノ結核豫防法、
花柳病豫防法、癩豫防法、精神療養所其ノ
他ノ特殊ノ疾病ニ對スル法令デアリマシテ、
ソレデソレノ命令ガ出來マスル場合ハ、
其ノ方デ出來ルダケヤツテ戴キタイト考ヘ
テ居リマスガ、其ノ方ノ施設ト調子ヲ合セ
マシテ、出來ルダケ施療救療ノ施設ニ付キ
マシテ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵實吉純郎君 第八條デゴザイマスガ、
「主務大臣必要アリト認ムルトキハ事業者ニ
對シ施設又ハ附帶事業ノ讓渡ニ付他ノ事業
者ト協議ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得」
トアリマスガ、サウシマス必要ガアル時
ニハ矢張り外ノ斯ウ云フ事業ヲシテ居ル人
ニ對シ色々々々協議ヲスルト云フ意味ハ、
合併ヲスルトカ、或ハ外ニ包括サセヨウト
カ云フヤウナ意圖ガオアリノヤウデゴザイ
マスケレドモ、ソレハドウ云フコトニナル
ノデセウカ

○政府委員(熊谷憲一君) 茲ニ事業者ガア
リマシテ、其ノ病院或ハ産院等ノ經營ガ適正
ヲ缺キマシテ、十分ニ其ノ能力ヲ發揮スル
コトガ出來ナイト云フヤウナ場合ニ於キマ
シテハ、其ノ近所ニアリマスル他ノ事業者
ノ施設ト一緒ニナッタ方ガ宜クハナイカト
思ハレル場合モ考ヘ得ルト思ヒマス、又或
事業者ノ經營スル病院ナリ施設ガ非常ニ規
模ガ小サクテ、其ノ經營ガ非常ニ貧弱デア
ルト云フ場合ニ、若シ近所ニ事業者ノ大キ
ナ病院ガアツテ、一緒ニシタ方ガ經濟的デモ
アルシ、運用ガ圓滑ニ行クト云フヤウナ場
合ニ於キマシテハ、其ノ二ツノ事業者ニ對
シマシテ、一緒ニナッタラドウデアアルカト

「他ノ法令ニ依リ施設經營ヲ命ズルコトヲ得
ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」トアリマスガ、他
ノ法令ト申シマスノハ御承知ノ結核豫防法、
花柳病豫防法、癩豫防法、精神療養所其ノ
他ノ特殊ノ疾病ニ對スル法令デアリマシテ、
ソレデソレノ命令ガ出來マスル場合ハ、
其ノ方デ出來ルダケヤツテ戴キタイト考ヘ
テ居リマスガ、其ノ方ノ施設ト調子ヲ合セ
マシテ、出來ルダケ施療救療ノ施設ニ付キ
マシテ努力致シタイト考ヘテ居リマス

云フヤウナ協議ヲ命ズルコトガ出來ル、斯
ウ云フヤウナ意味デアリマス、勿論第八條
ハ是ハ最後ノ規定デアリマス、出來ルダ
ケ第八條ヲ用ヒズシテ、サウ云フ場合ニ出
來ルダケ事實上ノ懇談デサウ云フヤウナコ
トヲヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵實吉純郎君 今ノ御話ハ經營ガ餘リ
ウマク行カナイヤウナ小サイ規模ノモノヲ
大キナモノニ合併サセルト云フ意味ト承知
致シマシタノデスガ、將來斯ウ云フヤウナ
事業者ガ或ハ兩方が大キイノガアリマシテ、
片方ノ事業者ガドウシテモ一緒ニシタ方ガ
宜イデヤナイカト考ヘタ場合ニ、斯ウ云フ
規定ニ依ッテ片方ハ合スルヤウニ命令スルト
カ何トカ云フコトガ起ッテ來ルヤウニ考ヘ
ルノデスガ……

○政府委員(熊谷憲一君) サウ云フ場合モ
アルカモ知レスト思ヒマスガ、今考ヘテ居
リマスノハ、非常ニ運用ガ適正ヲ缺イテ居
ルトカ、或ハ小サナ經濟力ノ餘リナイモノ
ヲ一緒ニシタ方ガヨリ能ク斯ウ云フ事業ノ
發展ニ付テ效果ガアルト云フヤウナ場合ニ
致シタイト考ヘテ居リマス、勿論法文上ハ
何モ小サイトカ、經濟力ガ弱イト云フコト
ニハ限定シテナイ譯デアリマス、御説ノヤ
ウナ場合モヨリ得ルト思ヒマス、要スルニ
私ノ申上デマシタノハ出來ルダケ無理ヲシ
ナイデ、實情ノ話デヤリマシテ、ドウシテ
モ話合ガ付カヌト云フ場合ニ此ノ八條ヲ發
動スルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵山川建君 二ツバカリ何ッテ見タイ
ト思ヒマスガ、今度ノ醫療費ニ於キマシテ
ハ矢張り從來ノヤウナ關係デ、國ノ機關タ
ル官立大學ノ附屬病院ト云フヤウナモノハ
矢張り事業主ノ委託ヲ受ケテ此ノ診療ニ從

事スルト云フコトニナルノデアリマスカ、
ドウデゴザイマスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 官立大學ノ附屬
病院ニ付テハ十分詳シイコトハ存ジマセ
スガ、建前ハ學校ノ研究ノ目的ニ病院ガ存在
シテ居ルト云フヤウニ承知シテ居リマス、
確力健康保險ノ醫療ヲ引受ケマス場合ニ於
キマシテモ特殊ノ勅令ヲ出シマシテ、サウ
云フコトガ爲シ得ルヤウナコトニ致シタヤ
ウナコトヲ覺エテ居リマス、デ我々ト致シ
マシテハ勿論此ノ「カド」階級ノ人ガ、官
立大學ノ附屬醫院ノ如キモノヲ利用スルト
云フコトハ、是ハ望マシイコトデアリマシ
テ、其ノ點ニ付キマシテハ文部當局トモヨ
ク相談ヲシテ進メテ行キタイと思ッテ居リ
マス

○男爵山川建君 矢張り特別ノ法令ヲ制定
サレテ、此ノ事業ト一體ノ關係ニ置キタイ
ト云フ御希望デゴザイマスカ
○政府委員(熊谷憲一君) 出來ルダケサウ
云フ施設ノ利用ノ出來得ル途ヲ開イテ置キ
タイと思ヒマス
○男爵山川建君 モウ一點何ッテ置キタイ
ノデスガ、是ハ申上デル迄モナイコトデ、
今日ノ醫療費ト云フモノハ藥品其ノ他ノ繙
帶、物品ニ致シマシテモ非常ニ一般ノ物價
ト伴ッテ高クナツテ居ルト思フノデアリマス、
殊ニ此ノ繙帶ノ如キハ「スフ」ノ入ラナイ繙
帶ヲ手ニ入レルト云フコトハ甚ダ容易ナラ
ザル仕事ノヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、
處ガ今日迄ノ色々國民健康保險法、或ハ母
子保護法ト云フヤウナ關係ニ於キマシテ、
醫療費ヲ御認ニナツテ居ルノハ私モ能ク存
ジマセヌガ、十何錢ト云フ極メテ低廉ノ經
費ト記憶致シテ居ルノデアリマス、處ガ今

日サウ云フヤウナ譯デ、戰前ヨリモ更ニ一
層經費ガ掛ルト云フ状態ニアル際デアリマ
スルカラ、餘リニ此ノ醫療費ト云フモノガ
低廉ニ失シマスルト、無論醫者ニ係リ得ナ
イト云フヤウナ「カド」階級ガ、兎ニ角オ
醫者サンニ係ルコトガ出來ルト云フコトハ
幸福ノ第一歩デアリマスガ、マア仕方ガナ
カラ診療スルト云フヤウナコトニナリマシ
テ、極メテアツサリ診療スルト云フヤウ
ナ傾向ガ段々増シテ行クト云フヤウナコト
ハアルマイカ、今日ニ於キマシテハ大體醫
療費ハドノ位ノマア平均ニシテ御考ニナ
テ居ラレマスカ、又將來ハ更ニ御増額ニナ
ル御計畫デモアリマスカ、其ノ點ヲ伺ッテ
置キタイと思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 誠ニ御尤モナ御
尋ネデアリマシテ、マア現在此ノ社會保險ノ
方モサウデアリマスガ、殊ニ此ノ救護法、
母子保護法ノ醫療費ハ非常ニ安イノデアリ
マス、相當開業醫ノ方々ニ犧牲ヲ引受ケテ
貴ッテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ今御述
ニナリマシタヤウニ多少開業醫ノ方々ノ方
ニモ勿論、診療ヲ受ケル「カド」階級ノ方
ニモ不平ガアリマスガ、私共ト致シマシテ
ハ、此ノ立法致シマシタ機會ニ多少デモ出
來得ルナラバ醫療費ヲ増額致シマシテ、開
業醫ノ負擔モ少クシ、又受ケル方モ喜ブヤ
ウニ致シタイト考ヘテ居リマス、併シ御承
知ノヤウナ非常ニ今度ハ範圍ヲ擴張致シマ
スルガ、豫算モソレ程デハナイノデアリマ
ス、醫療費ヲ相當高ク致シマスレバ救濟ヲ
スル人員ノ方ニ直グ影響ヲ及スノデアリマ
シテ、其ノ方ト睨ミ合ヒテ致シマシテ、出來
ルダケマア醫療費ノ内容ハ改善シテ行キタ
イト思フノデアリマス、現在ノ救護法デヤッ

テ居リマスル醫療費ハ、大體普通ノ診療デ
アリマスレバ一回十二錢内外ト云フヤウナ
コトニナツテ居リマス、一回十二錢ト申シマ
スルノハ普通ノ藥ヲ貰フノガ十二錢デアリ
マシテ、他ノ手術デアリマストカ、處置ヲ
ヤリマストカ、色々ノコトヲ含メマス平均
ガ二十三錢、四錢位ニ付イテ居ルノデアリマ
スガ、醫療方法ニ於キマシテハ出來マスレ
バ多少デモ其ノ内容ヲ良ク致シタイト考ヘ
テ居リマス、尙本法ノ施行ノ時期ハ十月一
日デアリマス、其ノ間ニ醫師會トモ能ク相
談ヲ致シマシテ、醫療費ノ單價ヲドウ云フ
風ニ致スベキカハ能ク相談ヲ致シタイト考
ヘテ居リマス

○仁井田益太郎君 モウ御質問モナケレバ
大體此ノ程度デ討論ニ移ラレルコトニシテ
ハ如何デセウカ、マダ十五分モアルノデス
カラチヨット御相談ヲ致シマスガ、如何デセ
ウカ、皆様御質問モナケレバ此ノ程度デ一
ツ……

○小坂梅吉君 議事ノ進行ニ付テ一言申上
ゲテ見タイと思ヒマス、先日來各委員ノ皆
熱心ナル質問應答デ我々了解致シマシタカ
ラ私ハ既ニモウ論議ガ盡キテ居ルト思ヒマ
スカラ、採決シテ一ツ決定シテ戴キタイト
思ヒマス
○委員長(子爵立見豐丸君) 小坂委員ノ御
動議デゴザイマスガ如何デスカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵立見豐丸君) ソレデハ質疑
ヲ打切りマシテ只今カラ討論ニ移リマス
○仁井田益太郎君 私ハ今述べタ關係デ……
三案トモ何レモ適切ナリト考ヘマスカラ無
修正可決ニナラムコトヲ希望致シマス
○委員長(子爵立見豐丸君) 御異議ゴザイ

マセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵立見豐丸君) ソレデハ三案

トモ可決スルコトニ致シマス、長ラク皆様

御苦勞デゴザイマシタ、不慣レデドウモ申

譯ゴザイマセヌデシタ、是デ散會致シマス

午前十一時四十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵立見 豐丸君

副委員長 男爵高木 喜寛君

委員

侯爵徳川 頼貞君

侯爵中山 輔親君

伯爵松本 宗隆君

子爵植村 家治君

子爵實吉 純郎君

仁井田益太郎君

男爵前田 勇君

田口 弼一君

男爵山川 建君

中川 望君

長岡隆一郎君

安宅 彌吉君

小坂 梅吉君

松井貞太郎君

齋藤万壽雄君

岩田 三史君

政府委員

厚生次官 兒玉 政介君

厚生省衛生局長 加藤於菟丸君

厚生省社會局長 熊谷 憲一君

厚生書記官 高橋 敏雄君

同 中島 賢藏君

昭和十六年二月二十四日印刷

昭和十六年二月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局